【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成23年8月18日(2011.8.18)

【公開番号】特開2009-16352(P2009-16352A)
【公開日】平成21年1月22日(2009.1.22)
【年通号数】公開・登録公報2009-003
【出願番号】特願2008-174716(P2008-174716)
【国際特許分類】
Ｆ２１Ｓ　8/12　(2006.01)
Ｆ２１Ｖ　13/00　(2006.01)
Ｆ２１Ｓ　8/10　(2006.01)
Ｆ２１Ｖ　7/00　(2006.01)
Ｆ２１Ｖ　14/00　(2006.01)
Ｆ２１Ｗ　101/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２１Ｍ　3/05　Ｂ
Ｆ２１Ｍ　3/08　Ｚ
Ｆ２１Ｍ　3/10
Ｆ２１Ｍ　3/18
Ｆ２１Ｗ　101:10

【手続補正書】
【提出日】平成23年7月1日(2011.7.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車両用の楕円型ヘッドライトであって、
当該ヘッドライトは、光（３）を送出するランプ（２）と、当該送出された光（３）の少なくとも一部分を反射させるリフレクター（４）と、当該反射された光（６）の少なくとも一部を、車両前方の走行路上に光分布として投影する投影レンズ（７）とを有しており、
前記ランプ（２）は長手軸方向延在部を有する発光体（５）を有しており、前記発光体（５）の長手軸方向延在部が、前記リフレクター（４）の光軸（ＡＡ）に対して実質的に軸方向に配向されるように、前記ランプ（２）が前記リフレクター（４）内に組み込まれている形式のものにおいて、
前記ランプ（２）の長手軸（１４）が実質的に、前記リフレクター（４）の光軸（ＡＡ）に対して横向きに延在し、かつ前記リフレクター（４）の頂部領域に拡張されたリフレクター面が構成されるように、前記ランプ（２）は前記リフレクター（４）内に組み込まれており、
光ビームは当該拡張されたリフレクター面での反射後に新たに前記ランプ（２）のガラスバルブに当たる、
ことを特徴とする楕円型ヘッドライト。
【請求項２】
前記反射された光（６）のビーム路内に、上端（１０）を有するブラインド（９）が配置されており、

明暗境界を有する照明機能を生成する、殊にロービームまたはフォグライトを生成する前記投影レンズ（７）は、前記ブラインド（９）の上端（１０）を光分布の明暗境界として車両前の走行路上に投影する、請求項１記載のヘッドライト。

【請求項３】

前記ランプ（２）は下方から前記リフレクター（４）内に組み込まれる、請求項１または２記載のヘッドライト。

【請求項４】

前記ランプ（２）は側方から前記リフレクター（４）内に組み込まれる、請求項１または２記載のヘッドライト。

【請求項５】

前記ランプ（２）は斜め下方から、ヘッドライトの光軸（ＡＡ）に対して平行に延在している垂直な中心面（１３）に対して角度αで、リフレクター（４）内に組み込まれており、ここで０°＜｜α｜＜９０°、殊に２０°＜｜α｜＜６０°である、請求項１または２記載のヘッドライト。

【請求項６】

前記ランプ（２）はＨ３ランプとして構成されている、請求項１から５までのいずれか１項記載のヘッドライト。

【請求項７】

前記ヘッドライトは、フォグライト分布を生成するように構成されている、請求項１から６までのいずれか１項記載のヘッドライト。

【請求項８】

前記ヘッドライトは、ロービーム分布を生成するように構成されている、請求項１から６までのいずれか１項記載のヘッドライト。

【請求項９】

前記ヘッドライトは、ハイビーム分布を生成するように構成されている、請求項１から６までのいずれか１項記載のヘッドライト。